

平成30年5月28日

東京大学大気海洋研究所
所長 津田 敦

教員の公募について

このたび、本研究所では下記の要領で教員を公募します。

記

1. 採用人員 大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター 沿岸海洋社会学分野
准教授 1名

2. 採用予定時期 平成30年12月以降のできるだけ早い時期

3. 公募の趣旨

国際沿岸海洋研究センター（岩手県大槌町）は、国際的な視点から沿岸海洋環境や生態系の理解および環境保全等に関する研究を進めています。平成23年3月に発生した東日本大震災によって研究施設は壊滅的被害を受けましたが、平成29年度末には同じ大槌町内に研究棟を再建し、平成30年度末までにはすべての研究機能が復旧する予定です。また、平成30年4月より、文理融合型地域振興研究教育プロジェクト「海と希望の学校 in 三陸」を開始しました。事業の詳細については、センターのホームページ (<http://www.icrc.aori.u-tokyo.ac.jp/0shirase/umitokibou.pdf>) をご参照ください。

本公募では、このプロジェクトのため新設された「沿岸海洋社会学分野」において、様々な分野の研究者と連携して、三陸各湾の水産資源生物とその持続的利用に関する研究を推進し、得られた自然科学的特性と地域社会の人文社会科学的特徴を関連付ける人材を求めます。あわせて、地先の海の持つ可能性とそれを生かしたローカルアイデンティティを地域住民と模索し、地域に希望を育むことのできる次世代の人材育成にも積極的に取り組んでいただきます。また、共同利用・共同研究拠点としてのセンターの他の活動にも積極的に参画し、国際的な共同研究も展開できる方を希望します。大学院教育にも積極的に携わっていただきます。なお、上記のプロジェクト「海と希望の学校 in 三陸」終了後には、海洋生物資源部門資源解析分野准教授として水圏生物の生態学・資源解析学を軸とした研究を展開し、持続可能社会の達成に向けた問題解決に貢献できる人材を求めます。また、「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

4. 提出書類

- 1) 履歴書（東京大学統一様式 (http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html) による。写真を貼付すること。）
- 2) 研究業績目録（原著論文、総説、その他に分け、査読の有無を明記すること。また、わかるものについては被引用件数と算出に利用したデータベース名を付記すること。）
- 3) 主要論文5編の別刷（またはコピー）各1部
- 4) これまでに行なってきた研究の概要（2,000字程度）
- 5) 「海と希望の学校 in 三陸」およびその後の研究に対する抱負（4,000字程度）
- 6) これまでの教育経験と今後の大学院教育への抱負（1,000字程度）
- 7) これまでに獲得した競争的外部資金
- 8) その他参考となる事項（受賞、社会貢献等）
- 9) 応募者について参考意見を述べることのできる人（2名）の氏名および連絡先

5. 応募書類提出期限 平成30年7月26日（木）17:00 必着

6. 選考方法 書類選考の後、少数名の候補者にセミナーを行って頂きます。採用・不採用に関わらず結果はお知らせします。

7. 提出書類送付先

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 東京大学大気海洋研究所長 津田 敦 宛

(封筒に「沿岸海洋社会学分野准教授応募書類在中」と朱書し、簡易書留等で送付して下さい。応募書類は本公募の選考に係る作業の目的以外には使用しません。なお、特に要望がない限り、応募書類は返却いたしません。)

8. 国際沿岸海洋研究センターの教員構成 (平成30年5月26日現在)

【分野】	【教授】	【准教授】	【助教】
沿岸生態	道田 豊 (兼務)	田中 潔 西部裕一郎 (兼務)	白井厚太郎
沿岸保全	青山 潤 佐藤克文 (兼務)	福田秀樹	峰岸有紀
生物資源再生	河村知彦 (センター長)	北川貴士	早川 淳
沿岸海洋社会学	青山 潤 (兼務)	(本公募)	

9. 勤務場所

岩手県大槌町赤浜1-19-8 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター

ただし、「海と希望の学校 in 三陸」終了後 (平成35年4月以降を予定) には、千葉県柏市の大気海洋研究所に勤務していただきます。

10. 問い合わせ先

〒028-1102 岩手県大槌町赤浜1-19-8

東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター・教授 (センター長) 河村知彦

E-mail: kawamura@aori.u-tokyo.ac.jp (◎を@に変えて送信して下さい。)